

## 岩手大学大学院教育学研究科のFDに関する独自の活動

岩手大学大学院教育学研究科は、教職としての高度な専門的・実践的力量を備えた高度専門職業人としての教員を養成することを目的とする機関であり、専任教員（研究者教員と実務家教員）と兼任教員が絶えず資質能力の向上に努め、しかも組織的で協働的に学生教育を行うことが必要となる。このことから、教育学研究科では、従来の研究科以上に教員の資質能力の維持向上に向けた取組を行う必要がある。

そこで、教育学研究科では、全学的なFD（Faculty Development；大学教員の教育力向上のための取組）活動に加えて、研究科FD推進委員会を設置し、研究科の教育活動に関わる全ての教員が「教師教育家」（Teacher Educator）としての資質と自覚を常に維持向上させるための独自の活動を推進することとした。研究科FD推進委員会の主たる活動は下の5点である。

### 研究科FD推進委員会の主たる活動

---

- 1 院生による授業評価の実施とそれに基づく授業改善
  - 2 授業の定期的公開とその後の授業研究会の実施
  - 3 教員の全員参加の下に開催されるFD研修会の実施
  - 4 教員と院生との懇談会の実施
  - 5 教員の教育・研究活動の成果報告書の定期的発行
- 

下に、本年度実施した研究科のFDに関する独自の活動について、研究科FD推進委員会の活動に沿って報告する。

### 1 授業評価

---

時期 前期：平成28年7月21日（木）～平成28年8月4日（木）  
前期：平成29年1月31日（火）～平成28年2月14日（火）

---

対象 開講された全ての科目

---

概要 授業がその目的を達成し院生の課題とニーズに沿ったものであるのかを点検し、その質的向上と指導方法に関する改善等を目的に、授業に対する満足度と院生自身の取組に関する計14～15項目と並びに自由記述で構成される授業アンケートを実施した。項目については「理論と学校現場の実践を結びつけるような授業内容であった」など研究科のねらいに即したものとなるよう工夫がなされた。結果は集計され、授業者にフィードバックされた。また得られた情報についてFD研修会で報告され工夫・改善に向けての意見交換が行われた。

---

## 2 授業公開及び授業研究会

---

時期 前期：平成28年7月15日（金）公開：8：40～10：10，研究会：10：30～12：00  
後期：平成28年12月16日（金）公開：8：40～10：10，研究会：10：30～11：30

---

参加 前期：学内22名，学外15名，計37名  
後期：学内16名，学外13名，計29名

---

概要 院生に対してよりよい教育を提供するため，授業公開及び研究会を通して，授業計画や内容，方法等について改善を図ることを目的に，学内外の関係者，教育委員会事務局職員及び連携協力校教職員の参加を得て実施した。前期は「岩手の教育課題」，後期は「リフレクションⅡ」の授業を公開した。協議では，理論知と経験知を往還し融合するための授業のあり方についてと，研究者教員と実務家教員によるTTの効果的な指導のあり方についてがテーマとされた。ここで得られた情報についてFD研修会で報告され工夫・改善に向けての意見交換が行われた。

---

## 3 研修会

---

時期 平成28年9月27日（火）10：30～12：00

---

参加 28名

---

概要 教育学研究科における教育の実施状況について，その成果と課題を把握すると共に課題解決について検討することを目的に実施した。前期に実施・開催された「授業評価」「院生懇談会」「授業公開及び授業研究会」で得られた課題や情報が各担当者から報告され，これを基にワークショップ形式で意見が交換された。これにより教育体制に関する具体的な課題の共有化が進み，教育課程の開発，実施，検証，改善等に資する足がかりとすることができた。

---

## 4 院生懇談会

---

時期 前期：平成28年7月29日（金）14：45～16：15  
後期：平成29年3月16日（木）13：00～14：30

---

参加 前期：院生13名，教職員17名  
後期：院生15名，教職員20名

---

概要 院生との懇談会を開催し，教育学研究科の教員が高度専門職業人としての教員を養成する「教師教育家」として，よりよい教育を提供していくための改善点等について意見交流を図ることを目的に実施した。少人数による6グループを設け，院生からの学修及び生活に関する要望等を基に

懇談した上で、全体で課題の整理を行った。これを受けて研究科長が「大学院生に期待すること」と題して講話を行った。これにより、研究科立ち上げから前期では4か月、後期では12か月を経た時点における教育活動等に関する課題を確認することができた。また、ここで得られた情報についてはFD研修会で報告され工夫・改善に向けての意見交換が行われた。

---

## 5 教育・研究活動の成果報告

---

時期 発行日：平成29年3月31日

---

投稿 12件の論文

---

概要 教員の教育・研究活動の成果を報告し、教員の資質能力の維持向上に資するために「岩手大学大学院教育学研究科研究年報」を年1回発行することとした。研究活動については、教育学研究科と  
成果 に所属する専任教員及び兼任教員から実践研究に関する研究論文の投稿を求め、学校マネジメント力開発プログラム、授業力開発プログラム、子ども支援力開発プログラム、特別支援教育力開発プログラムの各領域からの投稿を得て、その第1号を発行することができた。

---